

第26回 交通大学

いつまでも安心、安全な運転を続けるために

運転寿命を延ばすために

～交通心理学の研究事例～

第1講座

もりいすみ しんご
森泉 慎吾

帝塚山大学 心理学部心理学科 准教授

心に響く教育方法 Part2

～プロドライバーとの向き合い方～

第2講座

せがわ まこと
瀬川 誠

山城自動車教習所
交通教育センター R-ism Lab. ゼネラルマネージャー

睡眠と安全運転

じぶ てつや
治部 哲也

関西福祉科学大学 健康福祉学部 教授

第3講座

第4講座

脳ドックで交通事故を予測できるのか？

～脳の健康管理による交通事故対策～

ばく けちゃん
朴 啓彰

医療法人健会 高知検診クリニック 脳ドックセンター長
ATR (国際電気通信基礎技術研究所) 行動変容研究室 研究員

2025年11月27日(木)

会場 ターミナルスクエア 12階会議室 岡山市北区駅元町1-4 (岡山駅より徒歩1分)

※会場に駐車場はありません。お車でお越しの場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

受付開始 9:45 終了 16:30

受講料 無料 (ご参加の際にはお申し込みが必要です)

※昼食をご希望の方は1,000円（税込み）が必要です。

※定員（110名）になり次第申し込みを締め切らせていただきます。

主催：マイクロメイト岡山株式会社 / NPO法人 安全と安心 心のまなびば

お申込み/お問合せ：マイクロメイト岡山株式会社 Tel 086-231-0900



講座内容・スケジュール

9:45	開場・受付開始
10:10	オリエンテーション / 開会のあいさつ
10:20	＜第1講座＞
	<h3>運転寿命を延ばすために</h3> <p>～交通心理学の研究事例～</p> <p>もりいづみ しんご 森泉 慎吾</p> <p>帝塚山大学 心理学部心理学科 准教授</p>
11:30	昼休憩 昼食 <60分>
12:30	＜第2講座＞
	<h3>心に響く教育方法 Part2</h3> <p>～プロドライバーとの向き合い方～</p> <p>せがわ まこと 瀬川 誠</p> <p>山城自動車教習所 交通教育センター R-ism Lab. ゼネラルマネージャー</p>
13:40	休憩 <10分>
13:50	＜第3講座＞
	<h3>睡眠と安全運転</h3> <p>じぶ てつや 治部 哲也</p> <p>関西福祉科学大学 健康福祉学部 教授</p>
15:00	休憩 <10分>
15:10	＜第4講座＞
	<h3>脳ドックで交通事故を予測できるのか？</h3> <p>～脳の健康管理による交通事故対策～</p> <p>ぱく けちゃん 朴 啓彰</p> <p>医療法人健会 高知検診クリニック 脳ドックセンター長 ATR（国際電気通信基礎技術研究所）行動変容研究室 研究員</p>
16:20	閉会の挨拶

高齢ドライバーの事故がマスコミ等で話題になると、「運転免許返納」がセットで取り上げられることが珍しくありません。一方で、運転が生活に直結している方々にとっては、免許を返納することは決して容易ではありません。そのような実情の中、高齢ドライバーの運転寿命を延ばすための交通心理学的研究が進められています。運転寿命を延ばすことは、生活の質の改善にもつながります。当日は、実際に関わってきた研究事例を紹介します。

交通事故は自然に発生するものではなく、やはり、発生のメカニズムが作用しているものである。とくにハンドルを握って運転するのは、ドライバーという人間であり、その心理的要因がミスを発生させているといえる。

インタラクティブ・リスニングは、対話を通じて、心理的要因の一つである“心情”を露出させるプロセスであり、それを自己洞察させて、交通事故を起こさない方法をドライバー自らが発見して安全なドライバーに成長していくことをサポートする手法である。私が教育現場で感じたその手法のエッセンスを紹介する。

「その一瞬の居眠りが、取り返しのつかない事態を招くかもしれません。」

本講義では、統計データに基づき、日本人が世界的に見ても深刻な睡眠不足に陥っている現状をご報告します。睡眠不足が運転能力に与える影響は、飲酒運転に匹敵するほど危険であることが科学的に示されています。なぜ居眠り運転は重大事故につながりやすいのか、そのメカニズムを解説とともに、見過ごされがちな睡眠時無呼吸症候群（SAS）の危険性についてもお伝えします。皆様の安全と健康を守るため、日々の睡眠習慣を見直すきっかけとなる内容です。

本研究は「運転は脳が司る」という理念のもと、脳MRIデータを用いて交通事故リスクを解析・予測するものである。2010年以降、延べ4万人以上の健常者脳MRIを蓄積した「交通脳データベース」を構築し、加齢脳（白質病変や脳萎縮）と交通事故との関係を検証した。白質病変は加齢性虚血変化であり、軽度でも交差点事故や逆走と関連することを報告。さらにAI解析により、加齢脳指標から高精度で事故リスクを予測可能であることを見出した。加齢脳は、生活習慣の乱れや生活習慣病に大きく影響される。脳ドックによる脳健康維持が、交通事故予防に直結することを提言している。